

良寛の里美術館特別展連携 良寛関連ブックリスト①



▲良寛の里美術館

★『北越偉人沙門良寛全伝』

西郡久吾／編著 象山社 1980

編著者の西郡久吾は、新潟市出身で、明治32年から大正8年まで長岡中学校で国漢の教師として、教鞭をとりました。生涯にわたって良寛の資料を収集し、良寛研究の先覚者といわれています。木村家14代の木村周作の「このような時代には、世人を覚醒させる人物が必要」という言葉に勧められ、発行に至りました。

本書は、良寛研究の基礎文献として、その後の研究者たちに大きな影響を与えました。

★『大愚良寛』

相馬御風／著 考古堂書店 2015

相馬御風は、大正5年に東京を離れ、糸魚川に戻りますが、そこで西郡久吾の『北越偉人沙門良寛全伝』を読み、良寛に心酔しました。その後、御風の数々の著作によって、良寛の名前は全国的に知られるようになりました。

★『良寛全集』 上巻・下巻

東郷豊治／編著 東京創元社 1959

鈴木虎雄（京都大学名誉教授）と堀口大學（詩人・フランス文学者）が校閲。堀口大學は序文の中で、「ことに長岡中学在学中には、良寛和尚研究の大先覚者として不朽の大業を成就された、かの『北越偉人沙門良寛全伝』の著者であられる西郡久吾先生が、教諭として在任され、前後数年に渡って、私も親しくその薫陶を受けたのである」と良寛研究との出会いを記しています。

★『木村家の良寛』

木村元蔵／著 良寛維宝堂 2007

良寛生誕250年記念の展覧会の図録として発行されました。木村家の資料がカラー写真で、わかりやすく紹介されています。

ここで紹介した本は、長岡市立中央図書館で借りられます（一部館内閲覧のみ）。ぜひ、ご活用ください。

その他にも図書館には1,500件を超える良寛に関する資料があります。どうぞ、ご利用ください。



良寛の里美術館特別展連携 良寛関連ブックリスト①

和島地域など長岡市にゆかり人たちの著作物を中心に紹介しています（紙面の関係で、雑誌類や自治体史などは割愛しました）。

一部初版でなく、貸し出し可能な新装版、復刻版を掲載しています。

| 書名 | 著・編者 | 出版社・発行 | 出版年 | 備考 |
|---------------------------------------|----------------------|---------------------|------|----|
| ふるさと和島の偉人紙芝居(DVD) | 和島の宝地域づくりネットワーク会議／制作 | 和島の宝地域づくりネットワーク会議 | 2019 | |
| まんが良寛ものがたり 新装版 | 高橋郁丸／作 | 考古堂書店 | 2017 | |
| 蓮の露 復刻版 | ヤコブ・フィッシャー／著 | 長岡良寛の会 | 2017 | |
| 良寛さん(紙芝居) | 羽鳥仁一／文 砂川祐次郎／画 | 和島の宝地域づくりネットワーク会議 | 2016 | |
| 根源芸術家良寛 | 新関 公子／著 | 春秋社 | 2016 | |
| 良寛 新装版 | 山崎昇／著 | 清水書院 | 2016 | |
| 大愚良寛 新装版 | 相馬御風／著 | 考古堂書店 | 2015 | ★ |
| 島崎における良寛 | 吉岡二郎／著 | 文芸社 | 2010 | |
| 長岡藩士の娘 貞心尼 柏崎市立図書館所蔵「中村藤八による智譲尼より聞取書」 | 小川幸代／著 | 平成20年全国良寛会長岡大会実行委員会 | 2008 | |
| 木村家の良寛 | 木村元蔵／著 | 良寛維宝堂 | 2007 | ★ |
| 良寛のきらめき | 池田光知／著 | 考古堂書店 | 2007 | |
| 良寛の書 | NHK「美の壺」制作班／編 | 日本放送出版協会 | 2006 | |
| 良寛遺墨展 御三家を中心に | 新潟県立近代美術館／編 | 新潟県立近代美術館 | 2005 | |
| 良寛禅師の真実相 | 長谷川洋三／著 | 木耳社 | 2005 | |
| 良寛 | 井上慶隆／著 | 研文出版 | 2002 | |
| 良寛の里美術館 | 和島村役場／企画 | 考古堂書店 | 2001 | |
| 良寛全集 復刻版 | 玉木礼吉／編著 | 牧野出版 | 1994 | |
| 良寛全集 復刻版 | 大島花束／編著 | 恒文社 | 1989 | |
| 良寛研究論集 | 宮栄二／編著 | 象山社 | 1985 | |
| 良寛をめぐる医師たち | 藤井正宣／著 | 考古堂書店 | 1982 | |
| 北越偉人沙門良寛全伝 復刻版 | 西郡久吾／編著 | 象山社 | 1980 | ★ |
| 沙門良寛 | 高木一夫／著 | 短歌新聞社 | 1973 | |
| 良寛全集 上巻・下巻 | 東郷豊治／編著 | 東京創元社 | 1959 | ★ |
| 晩年の良寛 良寛維宝堂案内 | 木村元周／著 | 木村元周 | — | |

★は表面で紹介している本です。

コラム 良寛と堀口大學

良寛については、映画「峠 最後のサムライ」の主人公である長岡藩軍事総督の河井継之助が上杉謙信、酒吞童子、良寛を北越の三豪傑と評すなど、これまで、夏目漱石や川端康成ら、大勢の文化人がその素晴らしさを伝えてきました。長岡市出身の詩人でフランス文学者の堀口大學は、良寛の遺墨を見て「そこには文学があり、そこには美術があり、そこには人生観がある」（『堀口大學全集』7）と、多角的な魅力を語っています。